

【8月6日（火） 15:00 – 17:00 (UTC +9)】

*** 要事前参加申込み：先着順で 20 名まで（参加申し込みフォームは 8 月 3 日に公開）**

ワークショップ 1

初めての Miro

2024 年度 大会実行委員

「[ミロ \(Miro\)](#)」はオンライン上にある大きなホワイトボードのようなアプリです。特にリモートワークやオンラインでの共同作業を支援するために設計されており、コロナ禍で、[Google の Jamboard](#) とともによく耳にするようになりました。

Miro は、Jamboard と比べて、使えるスペースが格段に広いこと、多くのテンプレートや機能があることなどの利点がありますが、そのために逆に初心者にとっては Jamboard よりも敷居が高く感じるアプリかもしれません。Miro は 2 年前に日本語化を始め、英語が苦手な方でも利用しやすくなったとはいえ、リアルタイムで質問しながら試してみたいとお考えの方もいると考えました。また、Google は今年の 10 月 1 日から Jamboard のサービスを段階的に停止することを決めたので、代替りのアプリをお探しの方もいることでしょう。

このワークショップは、Miro の使い方の解説を聞きながら実際に Miro を使ってもらい、基本的な操作を体験していただく形で進みます。初めて Miro を使う方が対象ですので気軽にご参加ください。ワークショップ参加前に Miro のアカウントを作るといった準備は必要ありません。ワークショップ内で一緒にやりましょう。

<ワークショップ当日ご用意いただきたい機材について>

ワークショップは Zoom ミーティングで行います。Zoom ミーティングに参加するために使う機材（PC、タブレット、スマートフォンなど）と、Miro を使用する機材は同じでも別でも問題ありませんが、画面が広く見えるほうが操作しやすいと思います。特に、スマートフォンは画面が小さくて操作ミスをしやすいため、初めての方は PC かタブレットの利用をお勧めします。

【8月8日（木）10：00－12：00（UTC +9）】

* 要事前参加申込み：先着順で 20 名まで（参加申し込みフォームは 8 月 3 日に公開）

ワークショップ 2

初めての UD トーク

山崎 直樹 氏（関西大学）

「[UD トーク \(UD TALK\)](#)」はコミュニケーションのユニバーサルデザイン（Universal Design: UD）を支援するためのアプリです。音声認識と自動翻訳を活用して、視聴覚障害者や異言語話者（自分が使うのとは異なる言語を使っている人）との 1 対 1 の会話から多人数の会話までサポートします。コロナ禍で開催されたオンラインのイベントや講演会で、リアルタイムに字幕を提供するために利用されることも少なくなかったように思います。

UD トークは気軽に使えるアプリではありますが、一人では使い勝手が試せません。そこで、実際に UD トークを使ってみるためにこのワークショップを企画しました。UD トークの使い方を解説した後に、少人数グループに分かれて実際に UD トークを使っていたいただきます。このワークショップは、UD トークに興味はあるけれども使ったことがない方が対象ですので気軽にご参加ください。ワークショップ参加前に UD トークのアプリのダウンロードやインストールをする必要はありません。ワークショップ内で一緒にやりましょう。

<ワークショップ当日ご用意いただきたい機材について>

ワークショップは Zoom ミーティングで行います。Zoom ミーティングに参加するために使う機材とは別に UD トーク体験用のタブレット PC かスマートフォンをご用意ください。

	Zoom ミーティング参加	UD トーク体験
例 1	パソコン	タブレット PC かスマートフォン
例 2	タブレット PC かスマートフォン	Zoom 用とは別のタブレット PC かスマートフォン

* UD トークには、[タブレット PC およびスマートフォン用のアプリ](#)しかありません。

【8月8日（木）19：00—21：00（UTC +9）】

***要事前参加申込み：先着順で20名まで（参加申し込みフォームは8月3日に公開）**

ワークショップ 3

初めての Slack

2024 年度 大会実行委員

「[スラック \(Slack\)](#)」はグループごとにチャンネルを分けてメッセージやファイルのやりとりができるツールです。リアクションボタンを押すだけでメッセージへの反応を知らせることができますし、共有ファイルはインターネット上に保存されるのでどこからでもアクセス可能です。メールが多すぎて、大事な情報がどこにあるのかわからなくなった、どのメールに返信すればいいかわからなくなってやりとりについていけなくなった、といった問題への対応として Slack を利用するコミュニティが増えました。

Slack には上記の他にも多くの機能があるのが利点ですが、そのために初心者にとっては敷居が高く感じることもあるようです。また、気軽に使えるアプリですが一人では使い勝手が試せません。そこで、実際に Slack を使ってみるワークショップを企画しました。

ワークショップ当日は、Slack の基本的な操作を体験していただきます。ワークショップ参加前に Slack のアカウントを作るといった準備は必要ありません。ワークショップ内で説明しますので、一緒に進めましょう。初めて使う方が対象ですので気軽にご参加ください。

<ワークショップ当日ご用意いただきたい機材について>

ワークショップは Zoom ミーティングで行います。Zoom ミーティングに参加するために使う機材（PC、タブレット、スマートフォンなど）と、Slack を使用する機材は同じでも別でも問題ありませんが、初めての方は PC かタブレットの利用をお勧めします。

Slack は同じ ID で複数の機器にログインできます。初回ログインで失敗する方もいると聞きますので、PC、タブレット、スマホなどの複数の機器に同じ ID でログインしたいという方は、ワークショップに複数の機器をご持参ください。